



研修受講者  
募集中!



詳しくは裏面へ!

## 強度行動障害 支援者養成研修

(基礎研修2日間)

コロナ禍での就職支援と福祉分野の  
人材不足解消のため、通常2~3万円の  
受講料を無料で開催します。

2日間の研修後、資格者証(強度行動障害支援者養成研修  
[基礎研修]修了証書)(重度訪問介護従業者養成研  
修[行動障害支援課程]修了証書)が授与されま  
す。この資格で、知的障害のある方のヘル  
パーや福祉施設職員として働くこ  
とができます。

通常2~3万円のところ  
参加無料

資格研修  
2日間

してみませんか?

# ふくし の 仕事

受講の対象

コロナ禍で  
収入が不安定に  
なった方

- 週に1日、月に数日働きたい
- 今の仕事のほかにダブルワークで働きたい
- 空いた時間で働きたい
- 人と関わる仕事をしたい

次のような方は基本的には対象外です

- すでに福祉施設職員として働いている方
- 福祉系の学校に在籍しており、免許  
や資格を取得する見込みの  
ある方



## 研修で学べること

- 強度行動障害ってなに？  
どんなこと？
- 障害のある方の  
支援の基本と様々なアイデア
- 支援の現場の  
リアルな実践報告

主に知的障害のある方の  
支援に携わるベテラン講師陣が  
わかりやすく教えます

## 研修を修了するとこんなお仕事ができます

### 知的障害のある方や 精神障害のある方のヘルパー

(自宅での生活のサポートや外出の介助)

勤務例 時給1,000円～1,200円／3時間～16時間／  
夜勤手当5,000円程度

### 障害者支援施設(入所施設やデイサービス等)での 就職に有利!

福祉分野の有効求人倍率は3～5倍  
(2021年4月現在)

## 日程(各回2日間)

- 日程1 7月 7日(水)講義 / 7月12日(月)演習
- 日程2 8月 18日(水)講義 / 8月25日(水)演習
- 日程3 9月 17日(金)講義 / 9月20日(月祝)演習  
※ポルトガル語通訳付き
- 日程4 10月 6日(水)講義 / 10月11日(月)演習
- 日程5 11月29日(月)講義 / 12月 6日(月)演習

## 受講料・定員

無料

※今回の研修は、コロナ禍での就職支援と福祉分野の人材不足解消のため、日本財団から助成を受け、通常2～3万円の受講料を無料で開催します。

定員20名

## 時間

全日程 9:00～17:00

## 会場

日程1,2,4,5

Any-エニ- セミナールーム  
[浜松市中区千歳町91-1]

※各会場とも専用駐車場はありませんが、提携駐車場の割引サービスがあります。  
詳しくは各会場にお問い合わせください。

日程3

浜松国際交流協会 HICE  
[浜松市中区早馬町2-1 クリエイト浜松4F]



## お問い合わせ・お申込み

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ (担当 | 夏目、ササキ)

電話 053-451-1355

メール lets-arsnova@nifty.com

申込フォーム <http://bit.ly/lets2021>

※お申込み後、主催者からの返信をもって受講確定となります。



コロナ禍の失業者が一から学べる

まちに社会的包摂を広げるふくしの資格者養成研修

## 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）

Supported by



日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

# ふくしの仕事

## 研修受講者 募集中!

## してみませんか?

詳しくは裏面へ!

### 強度行動障害 支援者養成研修

(基礎研修2日間)

コロナ禍での就職支援と福祉分野の  
人材不足解消のため、通常2~3万円の  
受講料を無料で開催します。

2日間の研修後、資格者証(強度行動障害支援者養成研修  
【基礎研修】修了証書)(強度助働介護従事者養成研  
修【行動障害支援課程】修了証書)が授与されま  
す。この資格で、知的障害のある方のヘル  
パーや福祉施設職員として働くこ  
とができます。

通常2~3万円のところ  
**参加無料**  
資格研修  
2日間

### 受講の対象

**コロナ禍で  
収入が不安定に  
なった方**

- 週に1日、月に数日働きたい
- 今の仕事のほかにダブルワークで働きたい
- 空いた時間で働きたい
- 人と関わる仕事をしたい

次のような方は基本的には対象外です  
・すでに福祉施設職員として働いている方  
・福祉系の学校に在籍しており、免許  
や資格を取得する見込みの  
ある方

主催 認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ(電話 053-451-1355 メール lets-arsnova@niftv.com) 助成 日本財団

令和3年度 活動報告

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ

本研修は日本財団「令和2年度新型コロナウイルス感染症に伴う社会活動支援」の「社会を変える活動支援」の助成を受けた「with コロナ！時代の社会包摂を担う人材育成と浜松中心市街地の新しいあり方検討」事業の一環として行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響は市民生活にひろく影を落としています。

本研修では、コロナ禍により失職あるいは影響を受けた方々を主な対象にふくしの資格取得の機会を提供するとともに、当法人が長年取り組んできた社会包摂を担う人材の育成に取り組みました。

通常資格者研修のカリキュラムを維持しながら、福祉の分野に初めて接する方々にやさしく、さらに受講者一人ひとりが自分の家族や職場など社会を構成するさまざまな場面でも講習内容を生かすことができるよう努めました。

受講者が浜松で社会生活をする中で、多様な人々が暮らす街を包摂するプレイヤーとして育つことを期待しています。

## 活動報告 Contents-----

- 開催概要
- 時間割
- プログラム内容紹介
- 振り返り
- アンケート① 受講申込時アンケート
- アンケート② 理解度アンケート
- アンケート③ 受講後アンケート
- アンケート④ 事業終了時アンケート

## 令和3年度 強度行動障害支援者養成研修 概要

### ■講座名

「ふくしの仕事してみませんか？」

強度行動障害支援者養成研修(基礎研修2日間)

### ■講師

高木誠一 社会福祉士・静岡県作業所連合会副理事長

長谷川行信 あてんでユーザーサービス責任者

鈴木美絵 社会福祉士プランセンターひくま相談支援専門員

### ■グループワーク補助

佐藤啓太 NPO 法人クリエイティブサポートレッツ 生活介護事業所アルス・ノヴァ主任

尾張美途 NPO 法人クリエイティブサポートレッツ 生活介護事業所アルス・ノア入野主任

佐々木雄一 NPO 法人クリエイティブサポートレッツ ヘルパー事業所アルス・ノヴァ ULTRA  
主任

### ■日程(各回2日間)

プレ研修 2021年5月15日(土)5月17日(月)

日程1 2021年7月7日(水)7月12日(月)

日程2 2021年8月18日(水)8月25日(水)

日程3 2021年9月17日(金)9月20日(月祝)←ポルトガル通訳付き

日程4 2021年10月6日(水)10月11日(月)

日程5 2021年11月29日(月)12月6日(月)

### ■場所

プレ研修 たけし文化センター(浜松市中区連尺町314-30)

日程1, 2, 4, 5 Any-エニイ-セミナールーム(浜松市中区千歳町91番地の1)

日程3 浜松国際交流協会 HICE(浜松市中区早馬町2番地の1クリエート浜松4階 会議室)

### ■時間

全日程9:00~17:00

### ■受講料

無料: ※今回の研修は、コロナ渦での就職支援と福祉分野の人材不足解消のため、日本財団から助成を受け、通常2~3万円の受講料を無料で開催しました。

定員: 各回20名

■受講者数

プレ研修 8名／日程1 12名／日程2 15名／日程3 16名／日程4 20名／日程5 19名  
受講者計 90名

■就労実績

研修受講者による福祉サービス事業所への問い合わせ 20件

研修受講者による福祉サービス事業所への就職 15件

内訳：

重度訪問介護事業所アルス・ノヴァ ULTRA 8名

浜松協働学舎グループホームすてっぷ 6名

NPO 法人ドリームフィールド 1名

※受講者への事後アンケート、および浜松市内の連携事業所への聞き取りによる。

NPO法人クリエイティブサポートレッツ

強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)

時間割

| 日時      |                          | 会場                             | 科目                       | 時間数                                    | 講師<br>(所属)                                   |                 |                                       |                |
|---------|--------------------------|--------------------------------|--------------------------|--|--|-----------------|---------------------------------------|----------------|
| 日時      | 時間                       |                                |                          |  |  |                 |                                       |                |
| 日程<br>1 | 9:00～                    | Any<br>(9月17日の<br>みHICE)       | 講義オリエンテーション              |  |  |                 |                                       |                |
|         | 9:15                     |                                |                          |  |  |                 |                                       |                |
|         | 9:15～                    |                                | 【I講義】強度行動障害がある者の基本的理解    |  |  |                 |                                       |                |
|         | 10:45                    |                                | ①強度行動障害の理解               |  |  |                 |                                       |                |
|         |                          |                                | (ア) 強度行動障害の状態            | 90分                                    | 高木誠一<br>社会福祉士・静岡県作業所連<br>合会・わ副理事長            |                 |                                       |                |
|         |                          |                                | (イ) 支援の基本的な考え方           |  |  |                 |                                       |                |
|         |                          |                                | (ウ) 行動障害が起こる理由           |  |  |                 |                                       |                |
|         |                          |                                | (エ) 障害特性の理解              |  |  |                 |                                       |                |
|         | 10:55～                   |                                | 【II演習】②強度行動障害の理解         |  |  | 90分             | 長谷川行信<br>あてんでゅー<br>サービス提供責任者<br>長谷川行信 |                |
|         | 12:25                    |                                | 困っていることの体験               |  |  |                 |                                       |                |
| 昼休憩     |                          |                                |                          |  |  |                 |                                       |                |
| 13:15～  | Any<br>(9月17日の<br>みHICE) | 【I講義】強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識 |                          |  |  |                 |                                       |                |
| 14:30   |                          | ②研修の意義                         |                          |  |  |                 |                                       |                |
|         |                          | (ア) 家族の気持ち/実践報告                | 75分                      | 鈴木美絵<br>社会福祉士<br>プランセンターひくま相談<br>支援専門員 |  |                 |                                       |                |
| 14:40～  |                          | (イ) 行動障害と虐待防止                  | 60分                      | 高木誠一<br>I-①講師                          |  |                 |                                       |                |
| 15:40   |                          | 【I講義】支援のアイデア                   |                          |  | 60分  | 長谷川行信<br>II-2講師 |                                       |                |
| 16:00～  |                          | 障害特性に基づいた支援                    |                          |  |  |                 |                                       |                |
| 17:00   |                          | 【I講義】④チームプレイの基本                |                          |  |  |                 |                                       |                |
|         |                          | チームプレイの必要性                     |                          |  |  |                 |                                       |                |
| 日程<br>2 |                          | 9:00～                          | Any<br>(9月20日の<br>みHICE) | 【II演習】①基本的な情報収集                        |  |                 | 60分                                   | 鈴木美絵<br>I-②講師  |
|         |                          | 10:00                          |                          | 行動を見る視点                                |  |                 |                                       |                |
|         | 10:10～                   | 【II演習】③チームプレイの基本               |                          |  | 90分  | 高木誠一<br>I-①講師   |                                       |                |
|         | 11:40                    | 支援手順書に基づく支援の体験                 |                          |  |  |                 |                                       |                |
|         | 昼休憩                      |                                |                          |  |  |                 |                                       |                |
|         | 12:30～                   | Any<br>(9月20日の<br>みHICE)       |                          | 【II演習】④特性の分析                           |  |                 | 90分                                   | 長谷川行信<br>I-③講師 |
|         | 14:00                    |                                |                          | 特性の把握と適切な対応                            |  |                 |                                       |                |
|         |                          |                                |                          | グループ討議/まとめ                             |  |                 |                                       |                |
|         | 14:15～                   |                                |                          | 【I講義】⑤実践報告                             |  |                 | 105分                                  | 鈴木美絵<br>I-②講師  |
|         | 16:00                    |                                |                          | 児童期及び成人期における支援<br>の実際                  |  |                 |                                       |                |
| 16:00～  | 振り返り・ふくしの仕事案内            |                                |                          | 60分                                    | 佐々木雄一<br>アルス・ノヴァ ULTRA<br>サービス提供責任者<br>長谷川行信 |                 |                                       |                |
| 16:30   |                          |                                |                          |  |  |                 |                                       |                |

# プログラム内容紹介

## 1 日目

### 1. 講義オリエンテーション

レッツの活動の紹介、ヘルパー事業の説明、ウルトラの活動の紹介など。 スタッフ佐々木より



↑ 明るい色調と豊富な写真で紹介



↑ 現職に着くまでの経緯を話す。

それぞれの違うバックグラウンドが創造的な支援につながる。



2. 講義、強度行動障害がある者の基本的理解、強度行動障害の理解 講師：高木  
ア) 強度行動障害の状態 イ) 支援の基本的な考え方 ウ) 行動障害が起こる理由  
エ) 障害特性の理解 … カナタさんのお買い物の様子映像を流す 映像：尾張



↑カナタさんのお買い物…コーラを掲げ、たんまり愛でてからレジに向かう。  
コーラへの情熱を感じる一コマを紹介。

3. 演習、強度行動障害の理解 講師：長谷川、スタッフ佐々木、佐藤
- ・困っていることの体験（軍手をして折り鶴を作る、紙筒で見る世界、異なる言語での交流）
  - ・同じ目線に立ってみることで見える豊かな世界の体験（彼らと一緒に楽しんでみることで見える世界を映像と語りで体験してみる。）



↑初期の長谷川講師バージョン、滲み出る優しさが隠せない。



↑誰も知らないオリジナル言語で高圧的に指示出しをする。サングラスをかけることで凄く威圧感が出ている。



↑突然のマイクパフォーマンスで会場が和やかなムードに。



↑施設の利用者が訪れることも。  
参加者の中には障害を持っている方と関わる機会が少ない人も多い。



↑「同じ目線に立ってみることで見える豊かな世界があります。」動画をじっくり鑑賞  
手を口から耳にかけて覆うようにすることで、自分の声を堪能している。  
障害特性における課題だけを注視せず、特性そのものを面白がったり、  
じっくり見つめることで見えてくる世界を体験してみる。

- ・昼休憩（休憩中、スクリーンにアルス・ノヴァの就労継続 B 型で制作している YouTube 番組、インクルーシブメディア「のヴァ TV」を流す。）



↑インクルーシブメディア「のヴァ TV」では、障害福祉施設で行われるクラブの様子や、日中の施設の様子などが沢山観れる。

#### 4. 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識

##### ②研修の意義

ア) 家族の気持ち/実践報告 講師：鈴木、ご家族：高橋

(ご家族から直接当事者の生き立ちや印象に残るエピソード、日々の工夫や思いを聞く。)

イ) 行動障害と虐待防止 講師：高木 、 演者：佐々木、佐藤  
(実際の現場で起こる、虐待に繋がり易い状況を小芝居で見せる。)



↑ 職員のユーモラスな小芝居で、虐待が起こり易い状況を立体的に理解できる。

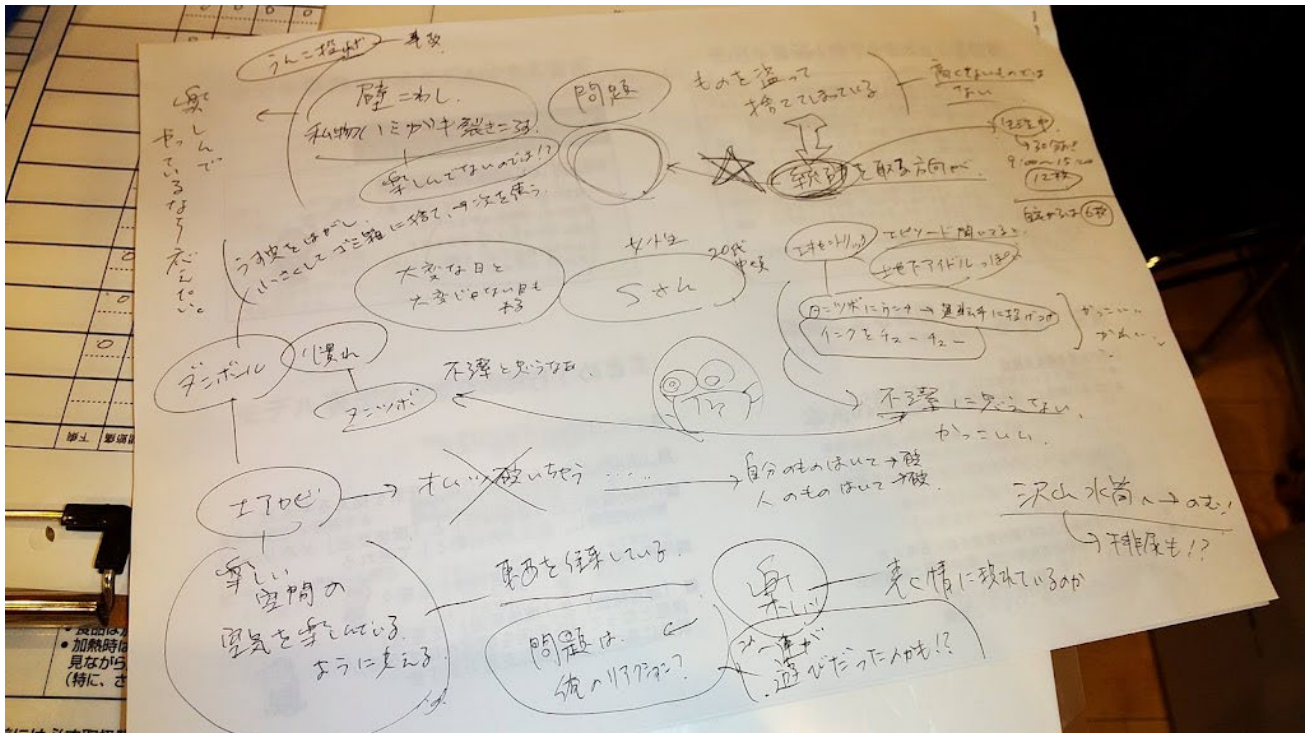
- ・ 1 講義 ・ 支援のアイデア、障害特性に基づいた支援 講師：長谷川 、 佐藤、佐々木  
「クイズ構造化でSHOW」
- ・ チームプレイの基本、チームプレイの必要性



↑ 「クイズ構造化でSHOW!!」



↑クイズ番組のような構成で、自然と手が挙がる。



↑『チームプレイの基本、チームプレイの必要性』では、アルス・ノヴァで行われている「しえんか いぎ」(ソーシャルインクルージョンを生かした支援会議)がよく分かる T さんの事例について書かれた用紙を配布

## 2日目

### II.演習 ①基本的な情報収集、行動を見る視点 講師：鈴木



↑一日目の御家族の話と同じ方を事例に選んでいる。現場で行われている情報収集が体験できる。

### ③チームプレイの基本、支援手順書に基づく支援の体験 講師：高木 演者：佐々木、尾張

### ④特性の分析、特性の把握と適切な対応、グループ討議/まとめ 講師：長谷川、尾張

(実際に現場で起こったことを事例にして冰山モデルで考えてみる。「まいさんがパニックになりました。」最後に音が印象に残るアルス・ノヴァの現場の映像を時間いっぱい流す。)



↑予想外のパニック理由。障害特性だけに囚われず、1人の人として寄り添う視点の大切さを伝える為に、2パターン実際に起こった出来事を事例に選ぶ。会場から職員よりも鋭い意見が上がることがありました。

I. 講義 ⑤実践報告、児童期及び成人期における支援の実際 講師：鈴木

スタッフ：佐藤、尾張、佐々木

( 児童デイサービス、生活介護、ヘルパー事業、各々の現場を各現場スタッフが話す。

児童の現場・N しげ君との関わりを佐藤が映像とポエムで。生活介護の現場・カナタさんの施設での過ごしを映像でまとめ、手順書と照らし合わせながら尾張が解説。ヘルパー・佐々木が移動支援での出来事を豊富な写真と共に説明。)



支援手順書 & 記録用紙

|      |         |         |      |      |                |
|------|---------|---------|------|------|----------------|
| 利用者名 | カナタさん   | サービス提供日 |      | 作成者名 | 尾張             |
| 事業所名 | アルス・ノヴァ | サービス名   | 生活介護 | 時間   | 9:00<br>-16:00 |

| 時間              | 活動                                | サービス手順   | チェック                        | 様子  | 備考 |
|-----------------|-----------------------------------|--|-----------------------------|-----|----|
| 9:00            | 通所                                | 家族（主に母）に昨夜か今朝の服薬状況の確認。通所後に大声が止まらず、本人が苦しそうであれば、その日の服薬状況も加味して服薬する。服薬した時間や状況を薬袋と今日のトピックに記載。帰りの引き渡し時家族に伝える。  | 朝の服薬確認                      | ◎△× |    |
| 10:00<br>-11:30 | お買い物                              | 0時過ぎると「レモン」とお買い物の意思表示があります。自分のお財布を持ってお買い物に行きます。（マスクも忘れずに。）お財布には1日分の金額（1100円）入っています。なるべく1日1個で済ませましょう。事前に「1個だけ」と何度が伝えて、必ず準備をしてもらってからお買い物に行くこと1個で荷物出ることが多いようです。イオンに行くこと準備の多い物を買いたくなるので、100円ショップがベスト。■買った物のパターンがあり、平しぶどうを運ぶと必ず水筒、キャラクターも買いたくなります。要注意 | お買い物<br>(コーラ2本、ガム1個、大声出す等々) | ◎△× |    |
| 11:30<br>-12:00 | 歌・コーラ鑑賞・ドライブ・リヤカー等々のアクティビティ又はのんびり | お買い物が終わると「オアシド」とドライブ要求があります。行ける時は行きましょう。車が無い時はリヤカー散歩も楽しいようです。元気な時はイントロクイズなど、遊びに誘います。   | 昼食<br>(何食べた)                | ◎△× |    |
| 12:00<br>-13:50 | 昼食                                | 2時から食べ始めることはなかなか無いですが、遠征がかけをしましょう。14時頃にはお弁当屋さんがお弁当箱の回収にきます。  | アクティビティ<br>参加               | ◎△× |    |
| 13:50<br>-15:30 | 歌・コーラ鑑賞・ドライブ・リヤカー等々のアクティビティ又はのんびり | 家の影響で肥満傾向にあるため、外出や運動などの活動に誘導しましょう。従って遠征することが多いですが、本人がストレスを感じ過ぎない程度に、コーラ鑑賞やイントロクイズ以外の楽しみを一緒に探しましょう。   | 忘れ物                         | ◎△× |    |
| 15:30<br>-16:00 | 帰りの準備、忘れ物確認                       | お持ちの切り替えに時間がかかるので、帰りの15分前くらいから声を始めましょう。カマラなどの私物を所持している時は、忘れ物が無いように確認しましょう。忘れると家に帰った後にパニックになります。送迎車の出発時間に乗れない場合は一度出発し、他の利用者を送った後などに迎えに行くことスムーズに乗車します。   |                             |     |    |

＜注意事項＞

- たけし文化センターや街中に行くこと、飛び出してカラオケに入る可能性が高いです。入って1～2曲聞いたら納得しますが、お金がかかるので計画的に。
- 車袋の中のストックが無くなってしたら、家族に連絡しましょう。
- お買い物の際は事前の声かけや、お財布に1日分の金額のみ入れておくなど、各職員で工夫をして、なるべく1個に収めて下さい。しかし、本人の不調などでお財布の金額内で収まらない場合、職員が立て替えて下さい。ご家族に立て替えた旨を伝え、その分の金額をもらって下さい。
- 一人で外に出て迷子になることが過去にありました。目を離さないように気をつけて下さい。トイレなどで一時的に座を離れる時は戸締りするなど、用心しましょう。
- お出かけに行くこと、車から降りなかったり、途中で動かなくなることがあるので余裕を持って行きましょう。動かなくなった際は10～20分ほど声かけしていると動き始めます。

1日の様子（自由筆記）

連絡事項・問合せ事項



↑実際に使われている手順書を参照しながら、施設で過ごす1日を映像で観る。

・振り返り（研修最後の時間）…ふくしの仕事案内 各ヘルパー事業所の資料を配布、事業所スタッフが仕事内容や給料も含めて説明して社員を募った。（ヘルパーだけでなく、グループホーム職員の説明もあった。「こんなに楽しい仕事はない」と断言する事業所もあり、会場には笑顔がこぼれた。）



↑実際に働いているスタッフが詳しく事業紹介。各職員同様に前職は別の職種である。



↑「こんなに楽しい仕事はない！」福祉は難しい、辛いといった固定観念を払拭する一言。

## プログラムの工夫

障害福祉の現場に多様な人材を呼び込み、社会包摂を推進していく人材を育成する為に、既存の研修内容にアレンジを加えた。異業種経験のみの人にアプローチする為に、既存の障害福祉のイメージを払拭し、各個人の経験に紐づいた知恵から生まれるクリエイティビティこそが個人の生活のみならず、福祉や社会を豊かにしていくということを実例を交えて伝えることに注力した。

- ・工夫その1…経験したことの無い職種に興味を持つには親近感や、障害福祉への転職をリアルに感じてもらうことが大切だということで、各講師に現職に着くまでの経緯を話してもらうことにしました。講師陣の前職はバーテンダーであったり、役者であったりなど様々、そして、それ故の視点や経験が活かされていることも感じてもらえたのではないかと。
- ・工夫その2…事例の中身を実際に職員が体験したことを盛り込んだ。具体的な事例を知ってもらうことで、現場の空気も伝わり、専門性よりも個人のクリエイティビティが活きる現場なんだと感じれる。どの現場であれ、苦境を切り抜ける知恵は各個人の経験に紐づいたクリエイティビティにあるのではないかと。
- ・工夫その3…課題解決型だけに囚われないエピソードやアルス・ノヴァの日常の様子の映像や発想を盛り込めるだけ盛り込んだ。障害を抱えた人達と「困っている人」という視点だけで出会うことは勿体無いし、事実とも違う。彼らは「唯一無二の世界を知り、楽しんでいる人」でもある。彼らの世界に飛び込んで一緒に楽しむことで見えてくる豊かな世界があることを知って欲しい。

## 「強度行動障害支援者養成研修」振り返り

「ふくしの仕事してみませんか？」という呼びかけで行われた今回の研修では、福祉関係者に限定しない様々な受講生が集った。新型コロナウイルスの影響により職を失った人や、就職活動に不安を抱く学生、収入の減った世帯の主婦や、コロナ渦による見通しの立たない社会に不安を抱く人、社会問題に関心を抱き関わりたいと思う人、外国籍の方や障害当事者など様々な背景を持つ人々90名が講義を受講した。

多様な人々が集ったのは、福祉の仕事が特別な仕事ではなく既存の価値観や概念を自由に捉え直すことができる、と訴えてきた認定NPO法人クリエイティブサポートレッツが呼びかけた事が大きく影響していると感じた。

研修では、福祉の枠に捕らわれない多角的な視点を尊重することが大切だ、と受講生に強調して講義した。それは、社会的包摂を推進し多様な人材を呼び込むことが、福祉にとって重要な意味を持っているからに他ならない。何故なら、強度行動障害者にとってこそ多様な関わりを持てる環境や社会が必要であるからなのである。スタッフと利用者だけの限定的な関わりに閉じ込め安定的な生活を日々こなしていくことが彼らの幸せでは決してない。他者をも巻き込んだ多様な人々が往来する街に障害の有る彼らも共に居ることを私達は願っているからこそ、今回のような研修を行うことができた。

今回の研修は、講師による座学演習だけでなく、障害福祉サービス事業所アルス・ノヴァの施設スタッフが施設で巻き起こる様々なエピソードを寸劇や語らい等で表現することも織り込んだ研修であった。支援現場では多角的でユニークな発想が日々生まれていることを伝え、それら自由な考察は福祉の現場だけでなく社会のあらゆる分野で発生し、膠着した社会を横断する際に柔軟な発想や視点が不可欠であることを訴えた。

これらの講義を受けて、受講生からは子育てや介護にフィードバックすることができた、障害福祉だけのことではなく人権や虐待についても考えを見直すことができる機会になった、等様々な声が挙がった。また、福祉の基本的な関わり方を学んだだけでなく柔軟な関係性の中で支援が行われることが大切で、そのことを福祉を通して知ることができて面白く感じた、等の声もあり、今回の研修によって福祉の支援者養成研修でありながら社会包摂的視点を持つ人材の育成が実現できた、といえるだろう。

| アンケート① 受講申込時アンケート |                                 |                  |
|-------------------|---------------------------------|------------------|
|                   |                                 | ※該当項目についての回答率 6割 |
| 年代                | コロナ禍による影響について当てはまることにチェックしてください | ご職業              |
| 20代               | 学費の支払いに不安を感じています                | 学生               |
| 20代               | 学費の支払いに不安を感じています                | 学生               |
| 20代               | 経験が少ない。                         | 学生               |
| 20代               | 収入が減少した                         | 会社員              |
| 20代               | 収入が減少した                         | 学生               |
| 20代               | 収入が不安定になった                      | パート・アルバイト        |
| 20代               | 収入が不安定になった                      | 学生               |
| 20代               | 収入が不安定になった                      |                  |
| 20代               | 収入が不安定になった, 就業状況の悪化により, 転職検討    | パート・アルバイト        |
| 20代               | 職場の活動のあり方と自らの今までの考え方を一変しました     | 文化施設職員           |
| 20代               | 特に影響はない                         | A型就労支援           |
| 20代               | 特に影響はない                         | パート・アルバイト        |
| 20代               | 特に影響はない                         | 会社員              |
| 20代               | 特に影響はない                         | 学生               |
| 20代               | 特に影響はない                         | 学生               |
| 20代               | 特に影響はない                         | 学生               |
| 20代               | 特に影響はない                         | 無職               |
| 30代               | 仕事が休みになった                       | 飲食店              |
| 30代               | 収入が減少した                         | パート・アルバイト        |
| 30代               | 収入が減少した                         | パート・アルバイト        |
| 30代               | 収入が減少した                         | 会社員              |
| 30代               | 収入が不安定になった                      | パート・アルバイト        |
| 30代               | 収入が不安定になった                      | パート・アルバイト        |
| 30代               | 転職した                            | 医療・福祉            |
| 30代               | 転職した, 転職活動に制限があった。              | パート・アルバイト        |
| 30代               | 特に影響はない                         | パート・アルバイト        |
| 30代               | 特に影響はない                         | パート・アルバイト        |
| 30代               | 特に影響はない                         | 医療・福祉            |
| 30代               | 特に影響はない                         | 医療・福祉            |
| 30代               | 特に影響はない                         | 専業主婦・主夫          |
| 30代               | 特に影響はない, 今後, 転職の可能性がある。         | 公務員              |
| 30代               | 山あります。そのために勉強したいと思っています。        | 会社員              |
| 40代               | 失職した                            | 自営業・自由業          |
| 40代               | 収入が減少した                         | パート・アルバイト        |
| 40代               | 収入が減少した                         | 学生               |
| 40代               | 収入が減少した                         | 自営業・自由業          |
| 40代               | 収入が不安定になった                      | 自営業・自由業          |
| 40代               | 収入が不安定になった                      | 自営業・自由業          |
| 40代               | 収入が不安定になった                      | 自営業・自由業          |
| 40代               | 収入が不安定になった                      | 自営業・自由業          |
| 40代               | 収入が不安定になった, 興味があり受講します。         | 自営業・自由業          |
| 40代               | 収入が不安定になった, 収入が減少した             | 会社員              |
| 40代               | 収入が不安定になった, 収入が減少した             | 自営業・自由業          |
| 40代               | 収入が不安定になった, 特に影響はない             | 専業主婦・主夫          |
| 40代               | 色々やってみたくが増えました                  | 無職               |
| 40代               | 転職した                            | パート・アルバイト        |
| 40代               | 転職した                            | 会社員              |
| 40代               | 転職した                            | 専業主婦・主夫          |
| 40代               | 転職した                            | 無職               |
| 40代               | 特に影響はない                         | パート・アルバイト        |
| 40代               | 特に影響はない                         | パート・アルバイト        |
| 40代               | 特に影響はない                         | 専業主婦・主夫          |
| 40代               | 特に影響はない                         | 専業主婦・主夫          |
| 50代               | 仕事が減った                          | 自営業・自由業          |
| 50代               | 収入が減少した                         | 自営業・自由業          |
| 50代               | 収入が減少した                         | 自営業・自由業          |
| 50代               | 収入が減少した                         | NPO              |
| 50代               | 収入が不安定になった, 収入が減少した, 転職した       | パート・アルバイト        |
| 50代               | 転職した                            | 無職               |
| 50代               | 特に影響はない                         | 医療・福祉            |
| 50代               | 特に影響はない                         | 公務員              |
| 50代               | 特に影響はない                         | 自営業・自由業          |
| 50代               | 特に影響はない                         | 保育士              |
| 60代               | 失職した                            | 無職               |
| 60代               | 収入が減少した                         | パート・アルバイト        |
| 60代               | 収入が不安定になった                      | 子育て支援            |
| 60代               | 転職した, 転職活動に制限があった。              | 自営業・自由業          |
| 60代               | 特に影響はない                         | 会社員              |
| 60代               | 特に影響はない                         | 無職               |
| 60代               | 無職                              | 無職               |
| 70代               | 特に影響はない                         | パート・アルバイト        |

アンケート② 理解度アンケート（受講各日回答）

| 強度行動障害支援者養成研修「ふくしの仕事してみませんか？」アンケート集計 講義理解度 |           |         |                     |                  |         |  |
|--|-----------|---------|---------------------|------------------|---------|--|
| <b>一日目終了後 回収数60件</b>                       |           |         |                     |                  |         |  |
| 1. 研修の内容はいかがでしたか？                          |           |         |                     |                  |         |  |
|  | 理解<br>できた | まあまあ    | あまり<br>理解でき<br>なかった | 理解<br>できな<br>かった | 記入なし    |  |
| 1-1 強度行動障害の理解/高木誠一講師                       | 46件 77%   | 12件 20% | 0件 0%               | 0件 0%            | 2件 3%   |  |
| 1-2 強度行動障害の理解(演習)/長谷川行信講師                  | 43件 72%   | 14件 23% | 0件 0%               | 0件 0%            | 3件 5%   |  |
| 1-3 家族の気持ち/実践報告/鈴木美絵講師                     | 48件 80%   | 10件 17% | 0件 0%               | 0件 0%            | 2件 3%   |  |
| 1-4 行動障害と虐待防止/高木講師                         | 44件 80%   | 13件 22% | 1件 2%               | 0件 0%            | 2件 3%   |  |
| 1-5 支援のアイデア/長谷川講師                          | 32件 53%   | 14件 23% | 0件 0%               | 0件 0%            | 14件 23% |  |
| <b>二日目終了後 回収数58件</b>                       |           |         |                     |                  |         |  |
| 1. 研修の内容はいかがでしたか？                          |           |         |                     |                  |         |  |
|  | 理解<br>できた | まあまあ    | あまり<br>理解でき<br>なかった | 理解<br>できな<br>かった | 記入なし    |  |
| 2-1 基本的な情報収集(演習)/鈴木美絵講師                    | 43件 74%   | 13件 22% | 2件 3%               | 0件 0%            | 0件 0%   |  |
| 2-2 強度行動障害の理解(演習)/高木誠一講師                   | 46件 79%   | 11件 19% | 1件 1%               | 0件 0%            | 0件 0%   |  |
| 2-3 特性の分析(演習)/長谷川行信講師                      | 44件 76%   | 12件 21% | 1件 1%               | 0件 0%            | 1件 1%   |  |
| 2-4 実践報告/鈴木美絵講師                            | 44件 76%   | 11件 19% | 0件 0%               | 0件 0%            | 3件 5%   |  |
| 振り返り                                       | 40件 69%   | 11件 19% | 0件 0%               | 0件 0%            | 7件 12%  |  |

## アンケート③ 受講後アンケート

### ●講義を終えて福祉の仕事をしたいと思いましたが？

#### 「したい」 58件回収中17件→29%

- ・チャンスがあれば、いつでも福祉の仕事がしたいと思っています。私が重度の知的障害がある子をもつため、力になりたい、携わっていきたいと考えます。
- ・経験したことがないことが経験できそうだから。
- ・社会に必要な仕事だと思ったから。
- ・元々思っていたことだったため。
- ・福祉の仕事というと、長期間長時間だと思っていたけど、学生しながらアルバイトでもいいのか！！と知ったから。
- ・月1の働き方ってありなのかと、そこからなら実現可能だと思いました。
- ・私にできるのだろうか、と不安がまだデカイです。
- ・せっかく研修を受けたので活かしたいと思う。

#### 「してもいい」 58件回収中23件→39%

- ・ですが、娘が不登校ですから厳しいかも…。
- ・面白そうと思った。
- ・今の自分の生活スタイルにも合わせやすいと感じた。魅力を感じる。
- ・すぐにではないが、仕事先が通いやすい場所にあればしても良いと思った。閉ざされた場所なので、開かれた場を作って、住民と距離が近くなると良いと思った。
- ・スポットでも参加したい世界でした。
- ・就職先が決まっていますが、生活の一部として障害者支援に関わっていきたくらいなと思います。
- ・以前、施設で働いて、障害者さんとの関係を持ちたいから。
- ・話を聞いて障害の人を助けたいという気持ちと、その家族の人たちのためになりたいと思いました。
- ・今は家族のことであまり時間がとれないため、時間ができたら考えたいです。
- ・今の仕事とつながりを感じるから。
- ・してもいい、ではなく「私に出来るならお願いしたい」です。

#### 「すでにしている」 58件回収中9件→15%

- ・高齢者住宅に働いています。
- ・今は高齢者施設ですが、障害者施設はまた全然違う感じで少し興味を持ちました。

「あまりしたくない」 58件回収中2件→3%

- ・仕事ではない形で関わりたいと思ったから。
- ・共感はすごくするが、あまりしたくない。ものすごく葛藤するから。あと、爆音が苦手なのです。

「したくない」 58件回収中1件→2%

- ・自身の技量、気質では無理。

「無記入」 58件回収中6件→10%

- ・福祉の仕事だけをするには私には難しいのですが、できる時に、福祉の仕事をしたい。誰もができる状況を作るのがいいのかなと思っています。
- ・してはみたいが、自分に出来る自信が無い。
- ・今の職がダメになった場合、考えたい。
- ・利用者さんとの関わりの深度をどこまでしていいのか自信がない。

●**コロナ渦はあなたにとってどのような影響を与えましたか？**

「生活が苦しくなった」 58件回収中11件→20%

- ・仕事が少なくなったので

「仕事がなくなった」 58件回収中2件→3%

- ・生活スタイルが変わり、簡単に仕事は無くなるがよくわかった。

「転職を余儀なくされた」 58件回収中2件→3%

「コロナ以前から生活は苦しい」 58件回収中1件→2%

無記入」 58件回収中42件→72%

「その他」

- ・今までの仕事はほとんど無くなり、仕事を変えなければならなくなったが、生活は「楽しく」「楽」になった。
- ・変わらない(外出は減ったが)
- ・転職
- ・人と出会えなくなって私生活が苦しくなった
- ・転職を考えるキッカケになった。



- ・仕事が無い時もあるが自分自身がやろうと思うことがハッキリしてきた。少しずつ動けるようになったことが自分的に気が楽になっている。
- ・特になし
- ・復職をするタイミング、職種に悩んでいる。
- ・転職を考える時間が増えた。
- ・やりたいことがしにくくなった。会いたい人に会えない。お金を稼ぐよりも自分を大切にしたいと思った。
- ・特に変化ない
- ・大学の授業がオンラインになり、十分な勉強環境が整っていない。
- ・現在は影響は有りません。
- ・職業柄いつも気にしているので余りかわらない生活をしている。
- ・大学へ行けなくなった。
- ・収入はへりました。
- ・友人に会えないストレス、仕事に振り回される、思うように自分の時間が作れない。
- ・仕事を家庭に持ち込まない工夫が多々必要になった。
- ・多少の影響はあったものの概ね変わらず、社会については考えるようになった。
- ・仕事は忙しくなったが給料減った。仕事のバランスが崩れた。
- ・国境を越えて移動できなくなった。
- ・学校の勉強に遅れが出た。
- ・今までの生活が当たり前ではなく、恵まれていたと感じました。色々と考えさせられました。
- ・転職を与えてくれました。異業種を考えさせてくれた。職の見直しなど。
- ・特に変わらない。
- ・人とオフラインで会うことの重要性を実感した。

## ●講義感想、自由記述

- ・ご家族の話聞いたのが、とても良かったです。
- ・久しぶりに机にむかったのが大変でしたが、わかりやすい講義でとても良かったです。ありがとうございました。
- ・多動について、対処、対策をもっと知りたいと思いました。
- ・講義を受けるだけでなくワークの時間(体験)があつて良かったです。
- ・参加者全員にネームプレートがあると良いと思いました。
- ・日常生活にも活かせる内容で大変勉強になりました。コミュニケーションの大切さを学ばせていただきました。
- ・教育関係の人が知っていたほうがよいことも多かったと感じました。

- ・一日の長い講義なので、午後に演習、体を動かしたり話すワークがあるといいと思いました。もっと知りたいときの調べ方や参考資料を知れたら嬉しいと思いました。
- ・講義を聞くことで、今までの自分の体験が改めて言葉として整理されたり、学びを得られました。
- ・(マスクをしている為)講師の表情が見える方がありがたい。
- ・高木講師、長谷川講師の具体的な取り組み、参考になりました。高橋さんの日々の生活、ステキです。
- ・レッツアルスノヴァの現場のコト、現実感リアリティあって伝わります。何かに動かされる人と人、関係が見えます。座学、文字は難しい…。「強度行動障害」に人をあてはめないようにしたい。レッツで「ヘルパー」って呼び方は一方的で馴染めないと感じた。
- ・グループで話しなどして、わからないこともわかりやすくて良かったです。
- ・福祉の仕事に関わる方のお話を聞くことができ、良かったです。
- ・自分自身が行動障害があるなどになってしまって…。こんな人でもふくしの仕事ができるのか??と不安になっているところもあります。
- ・演習で、講義が少し長いと思った。
- ・ササキ劇場や鬼教官シリーズがとても面白かったです。また、実際の講義や家族からの話を聴いた際、周りの理解や支援が求められるようになって感じました。貴重な体験をしたと思いました。自分が考えていた強度行動障害のイメージと異なっているところもあり学ぶことができた。2回目のときには、より具体的な学びにしていきたいと思います。
- ・大変参考になることが沢山ありました！ありがとうございました。
- ・休憩も適切で学びやすかったです。
- ・今回は障害者支援のお話がメインですが、支援者の教育や学び、困ったこと、解決策の実例が知りたいです。実際に就労した際に続けていけるのか、不安があるため。
- ・演劇がわかりやすく感情移入しやすかったです。人権や虐待について自分の子育て、介護にもフィードバックできる内容で大変為になりました。
- ・10年前、結婚前に働いていた施設での経験値はありましたが、強度行動障害支援は独学だったので、今回の座学でいろいろ振り返ることが出来、勉強になりました。また、子育てにも関わることが沢山あり、自分の子への接し方も見直したいと思いました。自宅での小規模でやっているアトリエにも、発達に不安のある子が時々来られます。その家族への接し方や関わりのヒントにもなりました。子育て中ですが、ヘルパーの仕事など、出来る範囲で助合える仕事として改めて魅力も感じました。良い機会をありがとうございます。やっぱり「哲学が生まれる場所」だからだなー！と再認識しました！
- ・資料が厚い(あつくてよい)家族の話がわかりやすかった。

- ・療育手帳A、障害区分5とは？どのようにランク分けされているのかを知りたいです。
- ・強度行動障害が障害というくくりの中でどのあたりに属するのか？グループホームに高齢の方が入居されていて、そこからデイサービスに通ったりするのはとてもいいことだと思いました。レッツの事例がなごんでよかったです。よくわかってよかったです。
- ・強度行動障害についての理解から支援のあり方について、実際の家族の方のお話を伺う貴重な時間や疑似体験を通しての自分事としての理解など、そして人権を守る支援者として深く学びの機会をいただきました。
- ・講義の内容がわかりやすく、理解できました。テキストの中身も字が大きく(私のような年齢には合理的配慮です…ありがとうございます。)、わかりやすく、ありがたい資料だと思います。※社会的に受けることのできるサービス(障害者手帳のことや療育手帳、障害支援区分、行動障害の点数等)の基本的なことがわからないので知りたいと思いました。
- ・福祉関係の仕事やボランティアをしたことがないので紹介していただけるとありがたいです。
- ・「強度行動障害」ということばは、何となく知っていましたが、今回の研修でより一層理解が深まりました。自分なりにできることを考えていきたいと思いました。
- ・たのしく、あらためて、ためになりました。
- ・今回の講義を経て福祉の仕事について学ぶことができた。自分は福祉の道には進んでいないものの、この講座に参加することができて良かったと感じた。福祉は考えることが多く、奥深い職業であり、障がいを抱える人を一人の人として見る大切なものであると考えた。
- ・基本的な関わり方、気を付けることがありつつも、そこに固執することなく出来るだけ柔軟に様々な関係性の中で支援(生きていく場)が継続されていくことが大切だし、誰にとっても大切なことで、それを福祉をとおして知れることが面白いなあと思いました。
- ・障害福祉のサービスについて法的なものも知りたくなりました。(自分でも福祉について興味がより深くなったので勉強していきたくりました。)
- ・2日間のみなので、スタッフさんや講師の方もネームプレートを付けてもらえると良いと思った。いろんなワークがあってあきずに学べたし、理解しやすかった。障害のことも体感できた気がする。講義は子育て、介護にも、とても役立つ、人と関わるときに大切で必要なことが沢山詰まっていた。
- ・このような活動をされている事を知る事が出来てありがたかったです。又、無料で研修を実施されているのは、助成を得られているからでしょうか。ありがとうございます。
- ・強度行動障害がどういうものなのかが良く解った。サポートするにあたり基本的知

識を身につけられたと思う。

- ・福祉とは哲学、人と人とのつながり、人と人として対応する、あたりまえのことができていて素晴らしく思います。
- ・以前介護の仕事をしていた。現在は自閉症の子どもがいる学校で働いている。本講座は大変有益だと感じた。
- ・特別支援をするヘルパーの仕事について知ることができたため、大変興味深かった。
- ・講座とこの機会に感謝します。
- ・とても有意義で多くのことを学んだ。
- ・失業者が増えたため、この領域で仕事をする人が増えるといいと思った。
- ・お話が聞けた事、とても良かったです。また、私の子供たちや友人、いとこ達でも同じような状況を経験しました。障害があるのではないか、活動を皆と一緒にできないからといって、先生が後ろに付いて押さえつけることはよくあります。先生によっては理解してくれず、子供への対応ができない人もいます。私のいとこ(女性)は自閉症で重度です。癲癇の発作もあり、人との接触を嫌います。時には暴力的で、自分自身の頭を叩いたり、床に寝転がったりします。
- ・母親としての意見が聞ける事はとても重要だと感じました。家族としての全体的な生活や希望なども知る事ができました。この事に関する勉強や生活、予定など。
- ・高橋さんの娘さんの事について、どれだけ難しかったか想像がつかます。しかも一人で状況に対応するのは大変だったでしょう。この症状に対して学ばれた事、一生懸命に道を探して、娘さんに対してできた治癒を探された事に敬意を表します。
- ・初めて知ること、あいまいに知ってるつもりになっていたことも、すぐくわかりやすかったです。実際の話と絡めてお話して下さったのが知識として知ったものを生かすイメージになりました。
- ・自己紹介でお話して下さった先生もいましたが、講師をして下さっている方がどのような思い、きっかけで今の活動をされているのか、難しさや喜びなどを知りたいです。
- ・特性や、その特性に対して、どのような配慮が必要なのか、体験しながら学びました。レッツの動画を見たり、クイズでは見るからこそわかったことが沢山でした。
- ・この講座にどんな方が参加しているのか気になったので、最初にアイスブレイク的に少人数でもいいので自己紹介タイムがあったらよかったです。
- ・障害書に対する漠然とした恐怖感、知らない、分からない、から来ていたのだと気づきました。最後の構造化クイズがとても楽しく、もっと肩の力を抜きながら、ひとりひとりとの関わりを大切にしていきたいと感じました。
- ・実は数年前にも一度、福祉の仕事を考えてことがあったのですが、その時は自分自身の精神面の弱さに不安を感じ、就業を断念しました。福祉の仕事では、やはり、自分自身の強さもある程度必要でしょうか？母が統合失調症の方を相手する仕事をして

- いるのですが、話を聞いていると「私には無理かも」と感じてしまう事があります。
- ・知識だけでは補うコトが出来ない沢山の事を教えていただきました。興味はあったものの、あまり深い部分を今まで学ぶ機会が無かったのでとても勉強になりました。
  - ・密になりやすく、座る位置がむずかしかったです。(スライドがみえる場所他)
  - ・90分の講義は少し長く感じました。もう少し演習やグループワークなどを間に入れてやっていただくと助かります。途中で利用者さんが遊びにきてくれたことが印象的でした。
  - ・テキストの学習だけでなく現場でお仕事されている方、ご家族のリアルなお話を聞けた事が勉強になりました。
  - ・興味深いお話して色々ためになりました。演習があり、体験することでわかりやすかった。ご家族の話もためになりました。
  - ・実際、街中で出会った時、困っていたらどう声をかけたらいいのか知りたかったです。
  - ・どうしてもやってはいけないという面が多くみえてしまっていたが、否定ではない提案の仕方など知れてよかったです。
  - ・午前中、レッツさんの利用者さんのお買い物の動画で、説明して下さる女性の声がマイクに入っていなかったので聞きとりにくかったです。
  - ・高木さんが「どこの施設にも虐待はある、レッツにも」と明言なさったご気概に衝撃を受けました。「施設の体面も守りたいし、ゆらぎますよ」と率直に話して下さったこと、ありがたく思います。尊敬します。
  - ・舞さんのクイズコーナーのために重い分厚いファイルを持ってきて下さってありがとうございました。
  - ・イスの座面がカタくてツライです(次回はクッション持ってきます)
  - ・こんなに充実した内容を長時間、そしてブックレットも2冊も頂いてしまい、いいのでしょうか…。ご準備と皆様が日々積み上げられている経験値とお志に敬意と感謝をありがとうございます。
  - ・高木さんのお話しの仕方、スピード、とても聞き取りやすく分かりやすかったです。この時期に開催して下さってありがとうございました。せっかく障害者の方の参加もあったので、少しふれあう時間があつたらと思いました。
  - ・女性の声が小さくて、聞きとりづらかったです。(マイクの問題かもしれません)
  - ・講義と演習が混ざっていると、より体験的に理解できそうです。
  - ・現場の様子がたくさん見られてよかった。もう少し失敗や、うまくいかなかった時の対処が知りたいです。
  - ・とても楽しかったです。
  - ・座学が久しぶりだったので自分の集中力が切れてしまった時間がありましたが(あまりの情報量の多さに)2日間で全講義を終わらせるのですから仕方ないですねー。とてもためになったし面白かったです。2日目も楽しみにしています。

- ・映像や写真をたくさん入れるのがおもしろくメリハリがあります。
- ・高木講師の午後の講義でテキストに無かった分のスライドも差し支えなかったらメールでいただくと嬉しいです。
- ・鈴木さん、高橋さんが見せてくれた手帳的なもの、制度などについて、知らないことが多い、と感じました。
- ・理論とともにクリエイティブサポートレッツでの実例が面白かったです。こんなふうには福祉の扉が開かれていけばいいなと思いました。
- ・現場の話や実際の家族の方の話を聞いて、大変なことだけじゃないことを学びました。強度行動障害がどういったものなのか、支援する側がどんな言動をしたらいいのか、日常では学べないことが学べ、とても有意義な時間が過ごせました。とても楽しかったので、次回も楽しみです。
- ・今回は今の仕事を辞め、介護や福祉の仕事に転職をしたく参加させて頂きました。就職活動の第一歩目としてとても勉強になりました。転職活動を始めたときは、是非相談させて頂ければと思います。
- ・とても充実した研修でした。講師の皆さん、レッツの皆さんありがとうございました。(今日は利用者さんの飛び入りがなかったので残念でした)自分にできること探してやっていけたらいいなと思っています！！
- ・講義の内容はすべて理解できた。他の講座よりは有意義な時間だった。もう少し踏み込んだ内容を期待していた(レッツさん主催だから)
- ・「支援者あるある」のような講座をしてほしい。現場での疑問、困りごとを同じ立場の人と情報共有や対処法を学ぶ機会がほしい。
- ・支援をしていて疑問、困りごと、療育の入り口などを現場の人間が気軽に深く専門家に相談や学ぶ場所がほしい。
- ・助成事業だからこの講座を再びとか継続は難しいとは思いますが是非企画運営して下さい。知り合いにも受講してもらいたいと思っています。
- ・支援者側の一日の流れを知りたいと思いました。
- ・ご家族の方とのかかわり、利用者だけではなくご家族とのかかわりを知りたい。意見や考えが合わなかった時の解決方法、間に挟まれた時の対処を知りたい。
- ・実際に働いている方がスーパースターに見えていたけれど、大変だったことや仕事を始めたきっかけをお伺いして、同じ人間で試行錯誤しながら支援をしているのだと分かったので、そこらへんのことをくわしく聞けたら更によかったです。
- ・ボランティアの活動で利用者さんとの様な支援が出来るか知りたい。
- ・全然思った支援の仕事よりも大変だと思ったんですが、みんなで考えてチームワークだと聞いたので、働いたら頑張れそうです。
- ・2日間で大変でしたが、とても良く分かりやすく教えて下さいました。色々な職業の方々が集まって志をお伺い出来たのも良かったです。

- ・みなさんがとってもユニークで楽しく学べました1ありがとうございました。
- ・色々ためになりました。2日間の講義なので難しいと思いますが、実際に利用者さんと交流できるとよかったです。
- ・映像がわかりやすいです。
- ・皆様、休日返上で運営、企画、準備して下さったのではないのでしょうか。柔らかに親しみやすい講座をありがとうございました。
- ・頂いたブックレット、理度さんのほうは完読しました。読んでいてとてもエキサイティングで痛快でした。今日の動画を拝見してレッツさんの現場がすぐリアルに生き生きとわかって面白かった&スゴかった。私自身自閉症の行動をマネしたくなったり、共感したりする部分があることを思い出させてもらいました。(自分の中の社会不適合者をどうしていったら良いか…)その一方で昭和な(?)「働かざる者食うべからず」的な価値観が自分の中にくさびを降ろしていることも刺さるように実感する数日間でした。でも、たとえ関わらせて頂かないとしても、浜松にレッツさん&アルス・ノヴァさんが存在して下さることはホッと嬉しなことなのです。。最初は「キャンセル待ち」「社会見学的に」ということで申込みしましたが、今回参加させて頂けて本当にありがたい機会でした。本当に本当にありがとうございました。あと、漠然としていた、いろんな障害のある方の通所施設とレッツ&アルス・ノヴァさんの違い(利用者さんの違い・理念の違い)を知ることができたのも良かったし、レッツさんの取り組みに心強く暖めて頂きました。
- ・お仕事紹介に ULTRA のチラシがほしい。また福祉のサイトは後で URL などメールしてもらえるとアクセスしやすい。お金のところなども合わせて ULTRA の時給が低いのが比べてしまって気になる。メールで送った方がよいと思います。大橋さんのプレゼン上手でした。
- ・とても楽しく2日間学ぶコトが出来ました！ありがとうございました。
- ・(2-1 基本的な情報収集(演習)/鈴木美絵講師)ワークをやりっぱなしで終わったので、少しでもいいから考えたことに対してのアンサーが欲しかったです。
- ・はやく働きたくなりました。
- ・とても分かりやすい講義でした。
- ・普段、強度行動障害の方と関わる事もなかったし周りにそういう方がいないのもあって、ほとんど知らない世界だったけど、本日の研修を通してたくさん学ぶ事が出来てよかったです。ありがとうございました。
- ・色々わかりやすく、詳しく抗議してくれてありがとうございます。全体にもっとお話を聞きたいです。
- ・一度現場を見学してみたいです。よろしくお願いします。
- ・少し寒かったです。
- ・先生も大きな名札をつけてほしいです。

- ・あつという間の一日でした。ありがとうございました！！
- ・障害のことにいろいろついて知ることが出来たと思う。高校生でも分からないことだらけで少し難しかったけど2日目も頑張りたいです。
- ・どこを読んで説明しているか？になった。ページを言ってほしい。高木先生、話し早くて脳がおいてけぼりになってしまったです…。苦笑
- ・テキストの何ページかを教えてほしい(説明する時)。寒い。
- ・もっと介護に興味をもった。
- ・お年寄りや障害のある人の理解をしていこうと思った。初めて知る事だらけで、いろんな意味で新鮮な気持ちでした。
- ・すごくむずかしい内容で専門用語とか出てくるのかなと思っていましたが、話す内容が分かりやすく面白くもありとても良かったです。
- ・強度行動障害の方にかかわらず、社会全体のあり方についても学べて、とても貴重な時間でした。ありがとうございました。普段から取り入れることは取り入れていきたいと思います。
- ・支援の現場以外でも通用する話があったと思います。それも学べたので実りのあるものでした。
- ・水に濡れていた人のインフルエンザの件で、病院に行くのが大変だったとのこと。往診してくださるお医者さんは、浜松市内にいらっしゃるのでしょうか？もし、いらっしゃればよかったのにな…と。
- ・演習の困っている体験がとても理解しやすかったです。行動には必ず理由があることを教えていただきました。
- ・具体的な対応(パニックになった時等)をもっと知りたかったです。
- ・市中の障害施設の募集条件を知りたかったです。
- ・福祉と地域、福祉施設の運営、障害者と家族の付き合い方について、もっと知りたいです！
- ・福祉とアート、福祉と社会の包摂、障害者のメンタルケア、福祉系文化施設の活動(たけし文化センターなど…)知りたいです。
- ・とても勉強になる機会でした！面白くて分かりやすく説明していただいて、これからの福祉と障害者のあり方について考えなおして行きたいと思います。
- ・よかった。体験していた事を話してくれるとよりわかりやすくなります。
- ・浜松にある色々な施設を見たいです。
- ・とても楽しんでしまいました。日々実験日々発見なのだと思いました。
- ・もし傷害を負わせた場合、ヘルパーとしての対応を知りたい。
- ・バックグラウンドが色々な方たちがスタッフとして関わっているのは何故だろう、皆さんがレッツに関わりを持った動機も伺ってみたかったです。
- ・苦手な人とは避けてきたような気がします。今後そのような人とどのように接して行



けばいいか考えていました。今日はそのヒントを頂けた気がします。ありがとうございました。

- ・資料や講義をする上で参考にしたものなどあれば知りたかった。資料に文字が多くむずかしく感じる場所もあった。
- ・構造化のところはT E E c hを参考にしていますか？
- ・わかりやすかったです！！
- ・参加できて良かったです。
- ・全体を通して、動画をまじえた、講義が多かったのでリアルな支援の様子を見れてとても分かりやすかったのと、利用者さんとの信頼関係が常にリスペクトをもって接していると感じ、すばらしいと思いました。
- ・知らない世界をのぞくきっかけになりました。
- ・支援者さんの生の声を沢山聞け、皆さんが生き生きと楽しんで働いている様子を知ることができ、とても貴重な2日間でした。ありがとうございました。
- ・なぜうちって言うのか詳しく知りたくなった。
- ・遊びに行きたくなりました。
- ・福祉に携わっていませんが、寄り添う大事さはどの業種も同じでとても勉強になった。父が半身不随になり自宅介護していましたが、今は施設に入所していますが働いている方に感謝が強くなりました。
- ・色々とお話を聞かせてもらいありがとうございます。むずかしすぎて頭に入りきらず、まだお話を聞きたいです。友達の子供さんが舞さんと同じような子で感心を持ちました。素直でとてもかわいいです。
- ・沢山の事が学べてよかったです。ありがとうございました。
- ・福祉の資格のないスタッフさんたちの利用者さんへの向き合い方は誰がなんと言おうと福祉のプロフェッショナルであると実感致しました。なぜ皆さんはそこまで向き合えるのだろう。

アンケート④ 事業終了時アンケート

※事後アンケートにて「ふくしの仕事をしたい」「してもいい」と回答の方を対象

| 資格を取得してから、ふくしの仕事を始めましたか？ | 実際に働いてみた感想を教えてください。   | コロナ禍による生活の困りごとは改善されましたか？                          | いま、福祉の仕事を探していますか？ | ふくしの仕事を選ばなかった理由を教えてください。                             | ふくしの仕事の求人情報を希望しますか？ | 研修を受講したことで、普段の生活に影響はありましたか？  |
|--------------------------|---|---|-------------------|--|---------------------|--|
| はい                       | 日々、学びの時を過ごしています。其々に個性/主張があり、知るところから始まっています。まずはフラットな視線での触れ合いで。反省は、周りに気遣って、当人を力で抑えたりすると共に、何か申し訳けないな、と。  | コロナ禍による影響はなかった                                    |                   |  |                     | "今日は活動の日だ"と思うと、充実感はあるかな。   |
| いいえ                      |   |   | はい                |  | 希望する                | いろいろ考えるようになった  |
| いいえ                      |   |   | いいえ               | 今の仕事が忙し過ぎてボランティアさえ行けない状況。少しでも時間を作り、見学だけでも行きたいと思っている。 |                     | 物事の捉え方は、今までより自由さが増したように思います。来館者対応について、研修を受講したおかげで、強度行動障害のある方が来られた場合、心の余裕を持って対応できるのがとてもありがたいです。何かあれば、講師をしてくださった方々に相談できる！と、思うと本当に心強いです。個人的には、レッツさん他、講師をしてくださった施設に、見学だけでも行ける時間を作りたいと思いがらも今に至ります。  |
| いいえ                      |   |   | いいえ               | 現在は学生のため   |                     | 将来就職したいものが前よりも見えるようになった  |
| いいえ                      |   |   | いいえ               | 本職が忙しいから   |                     | 福祉というものの、福祉とアートの関係性を改めて考えさせていただく機会となり、今の仕事にいろいろ活用していきたいと思っています。  |
| はい                       | 以前から仕事以外のかたちで障害のある方と接する経験があったが、仕事を通じて関わることで、より深く相手と知り合うことができたように感じた。また、実際に働くことで得られる学びがとても大きいと感じた。   | 収入に関しては、コロナ禍による影響は直接的にはなかったが、研修を受けることで就労の機会を得られた。 |                   |  |                     | 他の事業所で障がい者支援の仕事をしているときに、すぐには理解できないような利用者の方の振る舞いや言葉に対して「なぜだろう?」とより深く考えるようになった。また、「レッツのスタッフだったらどうするだろう?」と考えるようになった。  |
| いいえ                      |   |   | はい                |  | 希望する                | 特にないです!  |
| いいえ                      |   |   | いいえ               | 興味はあるが時間的に   |                     | 現場でのコミュニケーションの取り方等、人との関わり方にプラスがあった。あとボランティア等で会う利用者さんとの距離の取り方等役に立っている   |
| はい                       | 昨年秋から放課後等デイサービスで週2日パートタイムで働いています。研修を受けていた事で、面接時に聞かれる事も多かったです。実際の現場でも研修内容は役にたっています。でも、利用者さんへの接し方(尊敬を持って接する、発言する)に関して違和感があり、施設によって違うんだと痛感しています。スタッフにスキルや経験があっても、その人がどういった人間観、哲学を持っているかが問われる仕事なんだと体験出来たし、いい勉強にさせて頂いたと思っています。3月で現在の職場は辞める予定です。4月から、別の職場でアートワークを提供することになりましたが、そちらは、そういうことはないと思います。 | 収入が安定した   |                   |  |                     | ひとつは、折に触れて、利用者さんと支援者側の関係についてです。支援者側は、強く出ようと思えばいくらでも出れるけれど、そうではなく、常に対等な関係を意識することをおっしゃっていたと思います。例えば、親子関係や夫婦関係の中で思い出したり、こどもアトリエをやっている中で、こどもたちとの関係だったり。そんな中で時々思い出し、立ち止まって考えることがあります。もうひとつは、長らく福祉の仕事から離れて居ましたが、やっぱり好きなんだということが実感できたことです。それは、人について生きることについて考えることが出来るからです。復職するきっかけになりました。感謝しています。ありがとうございました。 |
| はい                       | 難しく大変ですが やりがい あります  | コロナ禍による影響はなかった                                    |                   |  |                     | より 多方面に 相手の気持ちを考える事が 増えました   |
| いいえ                      |   |   | いいえ               | 機会があれば活かしていきたいと思っております。今は福祉の仕事を探しています                |                     | 言葉を発して意思表示のできない人の気持ちに寄り添う今回の研修を通し、障害の有無に関係なく人と人の関わり方を学んだ気がします。   |
| いいえ                      |   |   | いいえ               | 今別の仕事をしているから   |                     | 今後もし転職するときに福祉の仕事もしてみたいと思いました   |
| いいえ                      |   |   | いいえ               | 体力的に余裕がなかったため。                                       |                     | 受講したことを知人・友人に話したところ、非常に興味を持たれた。また、そのような研修があること、そのような障害を持つ人に関わる糸口があることを知った  |
| はい                       | 研修がおおいに役立っている。  | コロナ禍による影響はなかった                                    |                   |  |                     | 今回の研修後、自分の中で 「こだわらないことにこだわらる」と心掛けよう意識して生活できるようになった。  |